

事業概略書

(調査研究事業の場合)

包括的相談支援及び地域課題解決体制を担うソーシャルワーク人材養成・育成体制の構築並びに
そのパイロット事業の実施に関する調査研究事業

事業目的	<p>I. 社会福祉士養成・育成プラットフォームの構築 養成団体、職能団体、事業者団体、自治体、住民など、人材養成・育成に関係する多様な人々や団体等の参画が可能となる事業体制の構築を目指し、全国5か所でモデル地域を設定し、プラットフォームの構築のプロセスや構築を促進する要因、阻害する要因や構築を進める際の留意点等明らかにすることを目的とする。</p> <p>II. 地域を基盤とした社会福祉士モデル実習の試行的実施と開発 モデル地域における人材養成・育成のプラットフォームを活用し、地域を基盤とした社会福祉士の実習の開発を目的に実施した。</p> <p>III. 学び合いプラットフォーム構築における促進要因・阻害要因調査 社会福祉法人（以下法人）、社会福祉士の職能団体（以下職能団体）、社会福祉士の養成校（以下養成校）の三者を対象として、「学び合いプラットフォーム」の構築を可能にする促進要因と、構築を困難にする阻害要因を探る目的として調査を実施した。</p>
事業概要	<p>I. 社会福祉士養成・育成プラットフォームの構築 事業親委員会（作業委員会）における事業実施経過 モデル地域における事業実施経過</p> <p>II. 地域を基盤とした社会福祉士モデル実習の試行的実施と開発 地域を基盤とした社会福祉士モデル実習の実施 5つのモデル地域において試行的に設定したプラットフォームを活用し、地域を基盤とした社会福祉士のモデル実習に取り組んだ。</p> <p>III. 学び合いプラットフォーム構築における促進要因・阻害要因調査 学び合いプラットフォームに関する意識調査 プラットフォーム構築にあたり、その一翼を担う社会福祉法人・職能団体・養成校の現況を把握し、促進要因・阻害要因を明らかにするため、三者を対象とした調査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の社会福祉法人経営者協議会会員法人（約8,000法人） ・ 全国の都道府県社会福祉士会（47法人） ・ 本連盟会員校（274校） <p>学び合いプラットフォームの促進・阻害要因を探るために、すべての調査に下記の項目を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学び合いプラットフォームへの参加についての意向 ・ 学び合いプラットフォームへの参加を通じた効果にどの程度魅力を感じるか ・ 学び合いプラットフォームに参加するために必要になってくると考えられる要因について ・ 学び合いプラットフォームが担う学び直し機能についてどのような内容の学びを期待するか <p>調査対象の各団体の概要および回答者の属性の他に、それぞれの調査で下記の項目を設定した。</p> <p>① 法人調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の社会福祉充実残額（財産）の有無 ・ 法人の社会福祉充実計画の作成状況 ・ 法人での公益的取組を行うための予算の状況 ・ 回答者が勤務する拠点における町内会・自治会への加入状況

- ・ 法人における公益的取組の実施状況
 - ・ 社会福祉士養成校の教員との協力について
 - ・ 社会福祉士養成校の学生の協力について
 - ・ 社会福祉士養成校（教員・学生）と協力することへの期待
- ② 職能団体調査
- ・ 団体の理事会のメンバーの内訳（人数）
 - ・ 団体と養成校との「現在」「今後」のかかわりについて
 - ・ 団体と社会福祉法人との「現在」「今後」のかかわりについて
 - ・ 団体と都道府県行政との「現在」「今後」のかかわりについて
 - ・ 団体と市町村行政との「現在」「今後」のかかわりについて
- ③ 養成校調査
- ・ 2018(平成30)年度に社会福祉士の相談援助実習の配属を行った学生数
 - ・ 実習の全期間あるいは一部期間（60時間以上）を「市町村社協」または「地域包括支援センター」に配属した学生数
 - ・ 養成課程において、社会福祉受験資格取得の指定科目である「相談援助演習」または「相談援助実習指導」を担当している常勤（任期付専任教員を含む）の教員数
 - ・ その中で社会福祉士の資格を取得している教員数・社会福祉士の実習を履修する学生のための実習指導室
 - ・ センター等の設置の有無
 - ・ 養成課程において社会福祉士の国家試験受験資格を取得して卒業した学生の中で、福祉関連分野（保健医療分野、シルバー産業系分野などを含む）に就職した学生の割合（過去3年間の平均）
 - ・ 市町村社会福祉協議会あるいは地域包括支援センターにおける社会福祉士の実習について
 - ・ 養成課程と社会福祉法人との現在のかかわりについて
 - ・ 養成課程と社会福祉士の職能団体（社会福祉士会）との現在のかかわりについて
 - ・ 養成課程と都道府県行政との現在のかかわりについて
 - ・ 養成課程と市町村行政との現在のかかわりについて

調査研究
の過程

- I. 社会福祉士養成・育成プラットフォームの構築
1. 事業親委員会（作業委員会）における事業実施経過
 - 準備会：2018年8月1日(水) 17：00～19：00 本連盟事務局
 - 第1回：2018年10月7日（日） 17：00～18：30 本連盟事務局
 - 第2回：2018年12月23日（日） 10：00～12：00 TKP品川カンファレンスセンター
 - 第3回：2019年3月26日（火） 14：00～16：00 本連盟事務局
 2. モデル地域における事業実施経過
 - (1) 北海道委員会
 - 第1回委員会
2018年11月16日(金) 18：30～20：30 かでる2・7 1010会議室
 - 第2回委員会
2018年12月12日(水) 18：30～20：30 かでる2・7 910会議室
 - モデル研修会
2019年2月16日(土) 10：00～17：00 札幌国際ビル 国際ホール
ソーシャルワーク専門職の養成に関する社会的動向と展望
～個別支援と地域支援に取り組むソーシャルワークを目指して～
フォーラム
2019年2月23日(土) 13：30～16：30 津別町中央公民館
これからの地方部における福祉人材確保
～オホーツクに福祉人材を迎え入れるための地域共同の取り組みに向けて～
 - 第4回委員会
2019年2月26日(火) 18：30～20：00 かでる2・7 910会議室

- (2) 青森委員会
 第1回委員会
 2018年11月12日(月)13:00~15:00 青森県立保健大学B棟2階 B203教室
 第2回委員会
 2018年12月12日(水)10:00~12:00 青森県立保健大学B棟2階 B203教室
 モデル研修
 2018年12月15日(土)13:00~16:00 青森県立保健大学A棟1階 A111教室
 地域における課題解決のためのネットワーク実践研修会
- (3) 京都委員会
 第1回委員会
 2018年11月12日(月)17:30~18:30
 京都府庁福利厚生センター 第2・3会議室
 第2回委員会
 2019年1月21日(月)18:30~20:00 同志社大学 溪水館会議室
 モデル研修
 2019年2月22日(金)13:30~16:30
 同志社大学 新町キャンパス 臨光館301
 地域を基盤としたソーシャルワーカー養成のための実習教育のありかた
 第3回委員会
 2019年2月22日(金)13:30~16:30
 同志社大学 新町キャンパス 臨光館301
- (4) 山口委員会
 モデル研修
 2018年7月27日(金)10:30~16:30 山口県社会福祉会館
 山口県コミュニティソーシャルワーク実践研修
 モデル研修
 2018年7月28日(土)9:30~16:00 山口県社会福祉会館
 山口県コミュニティソーシャルワーク実践研修
 モデル研修
 2018年9月13日(木)10:00~17:00 萩セミナーハウス
 山口県コミュニティソーシャルワーク実践研修
 モデル研修
 2018年9月14日(金)9:00~15:00 萩セミナーハウス
 山口県コミュニティソーシャルワーク実践研修
 第1回委員会(第1回山口県ソーシャルワーク人材育成検討委員会会議)
 2018年10月3日(水)10:00~12:00 山口県立大学南キャンパスD館会議室
 モデル研修
 2018年10月26日(金)10:00~16:30 萩セミナーハウス
 山口県コミュニティソーシャルワーク実践研修
 モデル研修
 2018年12月7日(金)10:00~16:00 山口県立大学
 北キャンパス2号館B401(講演) / 南キャンパスD館(研修)
 山口県立大学実習指導者研修会
 第2回委員会(第2回山口県ソーシャルワーク人材育成検討委員会会議)
 2018年12月12日(水)10:00~12:00
 山口県立大学南キャンパスD館会議室
 モデル研修
 2019年2月8日(金)10:30~17:30 山口県社会福祉会館
 山口県コミュニティソーシャルワーク実践研修

	<p>モデル研修 2019年2月12日(火) 10:00~16:00 山口県立大学南キャンパスD館会議室 山口県コミュニティソーシャルワーク実践研修 第3回委員会(第3回山口県ソーシャルワーク人材育成検討委員会会議) 2019年2月18日(月) 13:30~15:30 山口県立大学南キャンパスD館会議室</p> <p>(5) 宮崎委員会 第1回委員会 2018年7月28日(土) 10:00~11:30 JAアズム 会議室 第2回委員会 2018年9月13日(木) 10:00~12:00 宮崎県福祉総合センター モデル研修 2018年9月27日~12月20日 延岡市 地域を基盤とした災害ソーシャルワークの学び モデル研修 2018年10月23日(火)~25日(木)、10月31日・11月12日・17日・18日 日向市 地域を基盤とした住民活動場面への現任者研修 モデル研修 2018年10月27日(土) 12:30~17:00 宮崎市中央公民館 ソーシャルワーク人材育成(実習指導)研修 モデル研修 2018年11月26日(月)~30日(金) 都城市 地域を基盤とした社会福祉士モデル実習 第3回委員会 2018年12月3日(月) 17:00~18:00 宮崎県福祉総合センター モデル研修 2018年12月23日(日) 9:30~12:00 ホテルベルフォート日向 地域を基盤とした住民活動場面への現任者研修 第4回委員会 2018年12月23日(日) 13:20~17:00 ホテルベルフォート日向</p> <p>II. <u>地域を基盤とした社会福祉士モデル実習の実施</u> Iで実施したプラットフォーム構築事業を推進する中で、実習のあり方や展開方法等について検討し、次年度も継続して実施していくことが確認された。</p> <p>III. <u>学び合いプラットフォームに関する意識調査</u> 調査委員会 第1回委員会: 2018年10月30日(火) 19:00~20:00 本連盟事務局 第2回委員会: 2018年11月24日(土) 17:00~19:00 武庫川女子大学 第3回委員会: 2018年12月15日(土) 12:00~14:30 本連盟事務局</p>
事業結果	<p>各地域においては、地域の状況、キーパーソンの決定過程や関係構築、委員会・研修会・実習実施に至るまでのプロセス、困難を感じた局面はどのようなものであったか、プラットフォーム構築にあたり重要だと感じられた点が明らかとなった。</p> <p>I. <u>社会福祉士養成・育成プラットフォームの構築</u> (1) プラットフォーム構築事業を通して得られた成果 ① 地域の関係者と新たなつながりの形成 ② 関係者の課題やニーズの共有化と新たな取組みの創出 ③ 人材養成・育成・確保への総合的な展開 ④ 地域共生社会を担うソーシャルワークの必要性の共有化 ⑤ 主体的参画に基づくプラットフォームの整備の必要性の共有化 ⑥ 実習教育の充実並びに教員・実習指導者の資質向上の機会と場の創出</p>

- ⑦ 「地域における公益的な取組」との相乗効果の確認
- (2) プラットフォームの構築を各地で推進していくための工夫
 - ① 既存のネットワークや関係性の活用
 - ② 地域特性や地域課題及びそれらに対応する教育の現状の理解
 - ③ 中心となる養成校や教員の選出
 - ④ 関係者間で共有可能な問題意識やテーマの設定
 - ⑤ 具体的な実習プログラムのイメージの明確化
- (3) 学び合いプラットフォームに対する社会福祉法人の期待
 - ① 社会福祉法人における地域への貢献や公益的な取組（地域公益事業含む）の状況
 - ② 社会福祉法人と養成校及び職能団体との協力について
 - ③ 社会福祉法人のプラットフォームの学び直し機能に対する期待
 - ④ プラットフォームの取組みに対する魅力
- (4) 学び合いプラットフォームの構築に向けた課題
 - ① プラットフォームへのイメージと参加意向
 - ② 現任の社会福祉士の学び直しや育成の課題

II. 地域を基盤とした社会福祉士モデル実習の実施

5つのモデル地域におけるプラットフォーム構築事業を活用し、地域を基盤とした社会福祉士のモデル実習に取り組み、各地から次年度も継続的に取組むとの表明がなされた。

北海道…プラットフォームの各参画団体・組織や実習・フォーラム開催に関して協働した各団体・組織にとっての課題やニーズをしっかりと取り扱い、多様な組織・団体が協働するプラットフォームの新たな可能性を確認した。

青森……①研修の企画と運営、②地域において（地域とともに）問題解決を展開する事例の集積、③情報発信の機能を有し、地域を基盤とするソーシャルワーク実践ができる従事者養成の環境整備を目指したモデル実習を計画し実施した。

京都……「きょうと介護・福祉ジョブネット」内に設けられている「北部人材チーム」において人材確保を目的として取り組んでいる多機関連携によるフィールドワークプログラムをモデル実習として実施した。

山口……山口県において地域を基盤としたソーシャルワーク専門職養成について、養成から現任研修に至る一貫した専門職養成のあり方のモデルを示すことができ、「レジデンシャルソーシャルワーク」「フィールドソーシャルワーク」それぞれにおいて、地域を基盤としたモデル的な実習プログラムを検討することができた。

宮崎……包括的相談支援及び地域課題解決体制を担うソーシャルワーク人材を育成することを目的に、社会福祉法人や地域包括支援センターに従事する職員等で、社協が行っている地域福祉事業や相談支援事業を実習するためのプログラムとしてモデル的に実施した。

III. 学び合いプラットフォームに関する意識調査

- プラットフォームが担う学び直し機能には「とても期待する」と「まあ期待する」の回答結果を合算すると、「地域の状況改善に向けた地域支援（コミュニティワーク）（85.4%）」、「社会の変化を視野に入れたソーシャルアクション（82.7%）」、「ソーシャルワークとしてのこと地域との一体的支援（81.0%）」、「新人教育等を含めたスーパービジョン（80.5%）」、「多職種連携やネットワークの構築（ネットワーキング）（84.4%）」に対する期待が相対的に高い傾向が見られた。
- プラットフォームを通じた取組みに魅力を感じている傾向が示された。社会福祉法人では、学生を実習やボランティアの受入れや職員募集において希望学生が増加することに大きな魅力を感じている。今後、プラットフォームに参画する団体それぞれの課題や役割を精査し、必要となる取組みを計画することが促進要因となり得ると考えられる。
- 一方で、プラットフォームを通じた取組みとして、社会福祉法人、養成施設・養成校、職能団体で共通して魅力を感じないという回答が多かった項目として「団体の知名度・認知度を上げること」が確認されたことから、まずはプラットフォーム構築に向けた促進要因となり得る取組みから始めることが重要といえる。

事業実施
機関

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

